

2021年卒
Vol. 9

7月1日時点の就職活動調査 〈速報〉

キャリアス就活 2021 学生モニター調査結果 (2020年7月発行)

2021年卒業予定者の採用面接が6月1日に正式に解禁されてから1カ月が経ち、新型コロナウイルスによる混乱のなか進行してきた就職採用戦線も、大きな山を越えた。7月1日現在のキャリアス就活・学生モニターの就職活動状況について調査を行ったところ、内定率は4年ぶりに8割を下回ったことがわかった。

今月も内定状況のほか多岐にわたる項目を調査したが、取り急ぎ主要指標のみ紹介したい。

1. 7月1日時点の内定状況

- 内定率は77.7%。前年同期実績(84.0%)を6.3ポイント下回る
- 6月1日時点(64.0%)からの伸びは13.7ポイント
- 就職先決定者は全体の57.6%。前年(67.7%)を10.1ポイント下回る

2. 就活継続者の動向

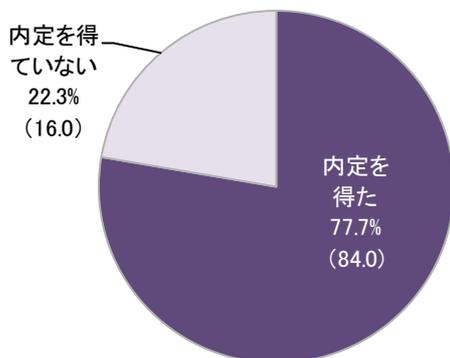
- 内定保持者の継続理由「本命企業がまだ選考中」32.9%、「自分に合うかわからない」30.8%
- 内定の見通しが立っているのは未内定者の1割未満(9.1%)に留まる

1. 7月1日時点の内定状況

7月1日現在の学生モニターの内定率は77.7%。高水準ながらも、前年実績(84.0%)を6.3ポイント下回った。7月の内定率が8割に届かなかったのは2017年卒以来4年ぶりのことだ。ただ、6月調査では前年同期比7.1ポイント減だったが、この1カ月で13.7ポイント伸びたことで前年との差は僅かに縮まった。

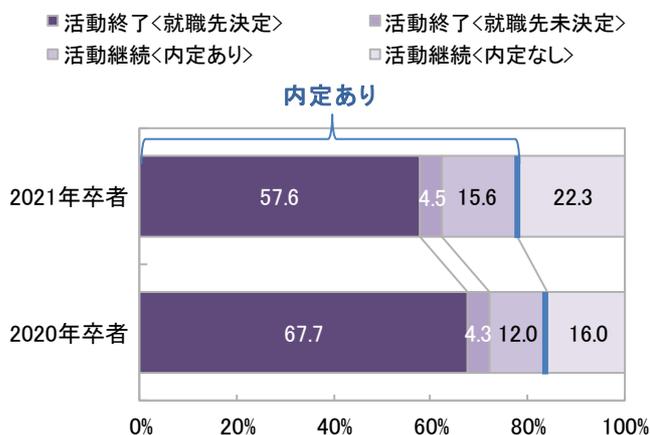
調査時点で就職先を決定して就職活動を終了した者の割合は全体の57.6%。前年同期(67.7%)を10.1ポイント下回り、遅れが目立つ。複数内定を保留しているなど未決定である者(4.5%)を合わせると終了者は62.1%。

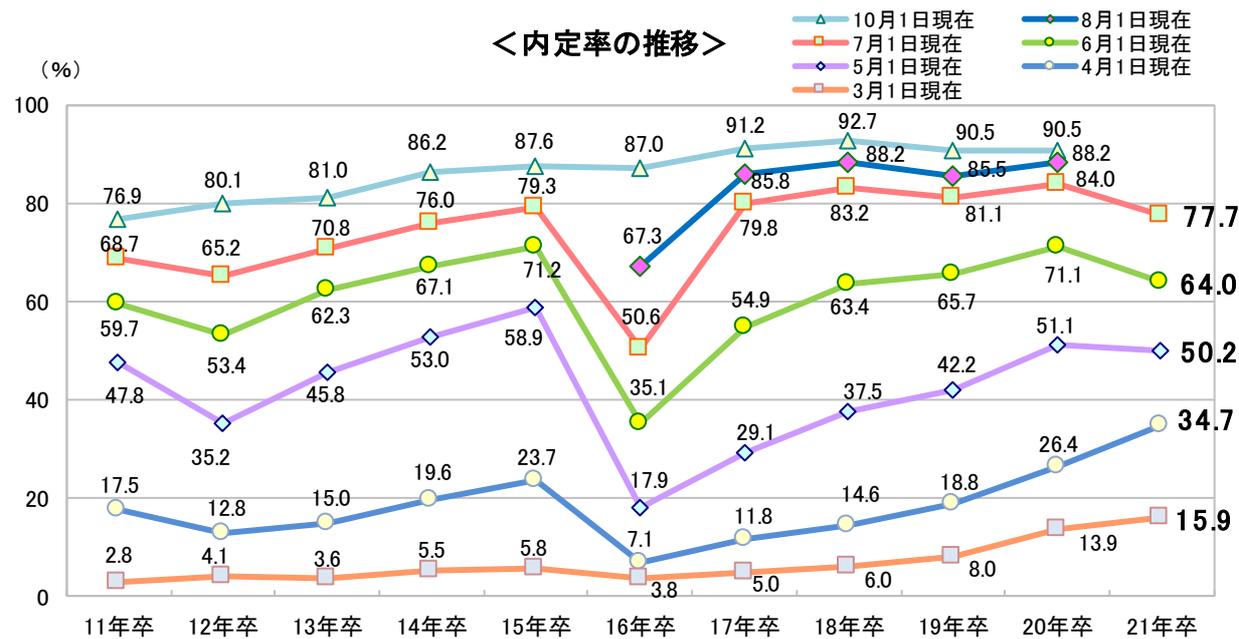
〈7月1日現在の内定状況〉



*「内定」には、内々定を含む
※()内は2019年の同調査での7月現在の数値

〈活動状況の分布〉





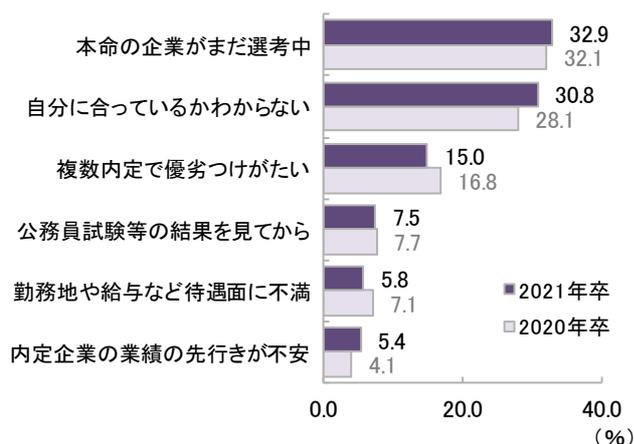
※15年卒までは選考解禁は4月、16年卒は8月、17～21卒は6月 ※15年卒以前は8月のデータはなし

2. 就活継続者の動向

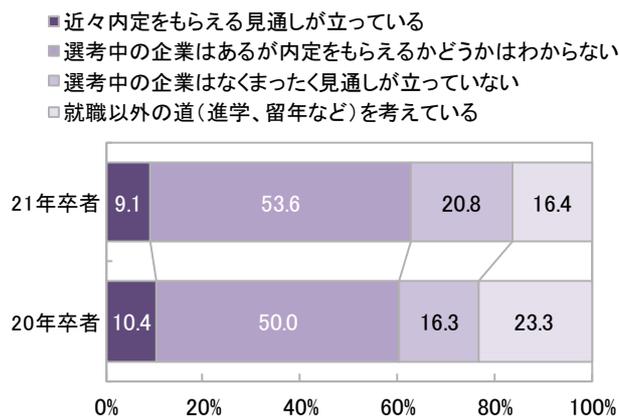
内定取得学生のうち就職先を決めていない者にその理由を尋ねると、「本命の企業がまだ選考中」が32.9%で最も多く、「自分に合っているかわからない」が30.8%で続く。内定は得たものの承諾を迷う学生が一定数いることがわかる。「複数内定で優劣つけがたい」「待遇面に不満」はそれぞれ前年よりポイントを下げた。

一方、未内定者に内定獲得の見通しを尋ねると、「近々内定をもらえる見通しが立っている」は1割に満たず（9.1%）、未内定者の多くが先の見通しが立っていない状況だ。

＜内定保持者が継続する理由＞



＜未内定者が内定を得る見通し＞



調査概要

- 調査対象：2021年3月に卒業予定の大学4年生（理系は大学院修士課程2年生含む）
- 回答者数：1,230人（文系男子389人、文系女子362人、理系男子343人、理系女子136人）
- 調査方法：インターネット調査法
- 調査期間：2020年7月1日～5日
- サンプリング：キャリアス就活2021学生モニター